



# 地域学校協働活動

# コミュニティ・スクール だより

1月28日（水）に行った第2回廿日市市コミュニティ・スクール研修会について紹介します。今回の研修会は、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に向けて、文部科学省CSマイスターから理論や実践事例等を学び、市内の連携及び協議を行い、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進と充実を目的に実施しました。

## 実践発表

テーマ：「学校の課題×地域の課題 ～地域とともに課題に挑む～」

発表者：津田小学校学校運営協議会	会長	<small>なかむら</small> 中村 <small>みつる</small> 満 さん
廿日市市立津田小学校	校長	<small>こばやし</small> 小林 <small>しんじ</small> 伸二 さん

津田小学校の学校運営協議会では、部会を設け、学校の課題と地域の課題をすり合わせ、その課題を学校と地域、地元の商店街、県立高校が連携し、双方に効果のある事業に取り組んでいます。

事例の一つ、小学校を統合した浅原地区での野外活動は、令和6年から地元のNPO法人与自然と連携して実施されています。

この取組によって、児童アンケートの「学校や地域のために自分ができていることを考えていきたい。」という設問で、肯定的評価が事前と事後で50.1ポイントも伸び、また、地域の方からは、「学校統合から10年、浅原でこんなに子どもの声を聞いたのは久しぶり。子どもたちと交流できて、私も楽しかった。」などのつぶやきがあり、学校と地域の双方に取組の成果が見られました。

最後に、会長さんから「コミュニティ・スクール、地域学校協働活動にかける時間と労力は『コスト』ではなく、中山間地域のまちづくりの創り手となる子どもたちの『社会形成能力』を高めるための『投資』だと考えてがんばっています。」という言葉がありました。

### 学校の願い×地域の願い

- ◆ 学校規模適正化，小規模特認校制度の指定×移住者，事業承継者を呼び込むための地域の空き家，商店街の空き店舗の活用＝津田オープンデイ（8/2）
- ◆ 津田小学校の特長を広く知ってもらいたい×地域に賑わいスポットを×商店街の回遊性向上＝津田ひまわり畑サンフワープロジェクト，津田商店街まるごとミュージアム
- ◆ 保護者負担の増加，これまで実施してきた三滝少年自然の家での野外活動が難しくなってきた×小学校を統合した浅原地区に子どもの声を呼び戻したい＝浅原野外活動
- ◆ 児童，保護者が減少し，運動会が盛り上がり欠ける×子どもたちに野球の魅力を伝えたい佐伯高校生＝Tボールを使った競技種目「フルスイング★バトル」をやってみた

### 事例：浅原野外活動

野活をパッケージ化してもうけたい(目論見)

浅原の自然，文化，人，施設，関係・活躍人口

R6指定管理者のメリットをいかして

近くで便利 浅原に子どもの声再び



## 講 話

テーマ：「学校や地域の課題解決につながるコミュニティ・スクールの推進」

～地域と学校の連携・協働による地域防災の取組を通して～

講 師：文部科学省CSマイスター やすだ たかひと 安田 隆人 さん

講師の先生が校長として勤務していた、岡山県浅口市立寄島小学校では、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）が地域や学校の課題を解決する場になっていて、学校と地域が知恵を出し合い、連携・協働することで、事例にある「地域防災」の課題を解決しています。

CS（コミュニティ・スクール）と地域学校協働活動の一体的推進によるメリットとして、子どもにとっては多様な方との学び、教職員にとっては負担の減少、地域の方にとっては生きがいの実感などが挙げられます。CSの成果は、学校と地域が目標を共有し、対話を通じて課題を解決し、子どもが変わり、学校が変わり、まちも変わるのだと言われています。

CSを導入した今、地域と学校の連携にかかわって、右の項目について振り返ってみることで、今の状況を把握するとともに、課題も見えてきます。CSの推進を図る上で、参考になります。



### コミュニティ・スクール導入・推進の壁

地域と学校の連携について、今を振り返ってみてください！

- その連携は、「学校支援」にとどまっていますか？
- 学校は、地域から「十分意見をもらっている」雰囲気がありますか？
- 学校は、地域と「目標を共有」して取組が行われていますか？
- その連携は、子どもを取り巻く様々な「学校課題や(地域課題)にも対応」できる連携ですか？
- その連携は、対等な関係(パートナー)になっていますか？ 一方からの押しつけ(負担)になっていませんか？
- その連携は、人が入れ替わっても「持続可能な仕組み」ですか？
- その連携により、人々の「当事者意識」は高まっていますか？
- 何か問題が発生したとき、保護者や地域住民が「学校の味方、代弁者」となってくれる雰囲気ですか？
- その連携は、「未来の子ども・学校の姿」を見据えたものですか？

■教職員は、コミュニティ・スクールの活動について理解していますか？

## 協 議

テーマ：「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の成果と課題、課題解決に向けて」



津田小学校の実践発表を聴いて参考になったことや、自校のコミュニティ・スクールや地域学校協働活動についての成果や課題をグループで出し合い、課題解決に向けて協議を行いました。

参加者のアンケートには、「地域と学校の連携を密にすることがいる。」「地域のいろいろな活動団体の個々のすごい力をどうつなげていけるか。学校、地域の思いのすり合わせが必要だ。」といった地域と学校の連携に関わる意見がありました。

廿日市市教育委員会生涯学習課

〒738-8501 廿日市市下平良一丁目11番1号

TEL(0829)30-9203 FAX(0829)32-5163



市ホームページ